

# 好きです！奄美農業

編集・発行 大島支庁農林水産部農政普及課

経営普及係・技術普及係 奄美市名瀬永田町17-3 (0997)57-7274

瀬戸内町駐在 瀬戸内町古仁屋船津36 (0997)72-0184

喜界町駐在 喜界町赤連2901-14 (0997)65-3019

<http://www.pref.kagoshima.jp/aa02/chiiki/oshima/sangyo/nougyou/index.html>

## 就農を激励！ 新規就農者励ましの会を開催

奄美大島及び喜界島では、毎年10名前後の方が新規就農されています。就農希望者は後継者のほか、県内外の異業種からのIターン、Uターン者が多く、奄美市、瀬戸内町、喜界町の就農研修施設での研修を経て就農されるパターンも多いです。経営品目は割合の高い順に、果樹、野菜、さとうきび、肉用牛となっています。

農政普及課では、新規就農者の定着を図るため、農業基礎講座等の研修会の開催や指導農業士会、各市町村などと連携した個別巡回指導、支援を行っています。

6月27日、大島地区農業改良普及事業協議会の主催による新規就農者励ましの会が、アマホームPLAZAで開催されました。

今年度の対象者は令和5年7月～6年7月に就農した11名（奄美市4名、瀬戸内町5名、喜界町2名）で、パッションフルーツやたんかん等の果樹経営、肉用牛経営に取り組みます。

当日は8名が参加され、「パッションフルーツの品評会で金賞を取る」「奄美に憧れて、移住し就農した、頑張っていきたい」「親の技術を習得し、経営を発展させたい」などと営農の目標や抱負を熱く語られました。

大島支庁農政普及課長からは「持ち続けて欲しいものがある。それは“自分はこの経営をしたい”という思いです。また、農業経営者として“名刺”を持って欲しい。名刺は、皆さんがこれから交渉やプレゼンするときの重要なアイテムになる。関係機関一体となって支援します」と、また指導農業士会長からは「趣味を持ち、農業者ばかりでなく、いろんな方と交流して欲しい。そこから役立つ情報が入る。我々に遠慮なく相談して。技術や経営ノウハウ、何でも教える。応援する」と激励しました。その他、各関係団体からも励ましの言葉が贈られました。

新規就農者のこれからの活躍をご期待いたします。



新規就農者(前列8名)との記念撮影



記念品の贈呈授与



抱負を語る新規就農者



新規就農者を励ます農政普及課長

## 奄美大島・喜界島農業の動き

奄美大島・喜界島の農業の出来事を毎月県ホームページ上で紹介しています。右のQRコードから検索してください。  
詳細は、大島支庁農政普及課までお問い合わせください。



### 令和6年2月

- 新規就農者の確保育成に向けた先進事例調査（1月30～31日）
- 奄美たんかんの収穫シーズン到来！（2月1日）
- 子牛の飼養管理技術現地検討会を開催！（2月8日）
- 奄美群島たんかん品評会、今年も多数の出品で盛大に開催！（2月8～9日）
- 奄美フェアでの『奄美たんかん』販売にできた長蛇の列！（2月10日）



令和6年3月 地域計画策定に向けた話し合い活動

### 令和6年3月

- 喜界島のマンゴー現地検討会で意見交換が盛り上がる（3月5日）
- 隔年結果是正に向けて、奄美大島・喜界島一丸となって春季かんきつ講習を強化（3月6～26日）
- 喜界町全域で地域計画を策定・公告（3月15日）



令和6年5月 たんかんのドローンによる防除技術プロジェクト

### 令和6年4月

- 奄美大島・喜界島の製糖終了
- パッションフルーツのほ場巡回で意見交換（4月18～19日）
- 令和5年度産奄美たんかん出荷販売反省会で、対策を呼びかけ（4月22～24日）
- 喜界町で大島地区生活研究グループ連絡協議会及び研修会が開催（4月23日）

### 令和6年5月

- たんかんの病害虫防除に対するドローン利用技術プロジェクトがスタートアップ！（4月30日）
- パッションフルーツ栽培で瀬戸内町と喜界町の生産者が意見交換（5月17日）

### 令和6年6月

- 奄美大島全5市町村で柑橘夏季講習会を実施！（6月10～25日）
- 瀬戸内町のパッションフルーツ収穫開始・味は良好！（6月10, 17, 24日）
- 奄美市パッションフルーツ品評会が今年も盛大に開催！（6月18日）
- 『奄美市たんかん塾』開講！（6月19日）



令和6年6月 パッションフルーツの本格的な収穫開始

## パッションフルーツの生育不良解消に向けた対策

奄美大島におけるパッションフルーツの園地では、生育不良が散見され、生産上の大きな課題となっています。生育初期から葉の矮化・黄化・亀裂などの症状が現れ、急激に成長にブレーキがかかり、大幅な減収に結びついてしまっています。その引き金となっているのが根の生育の停滞にあります。

3年間にわたって、この課題の克服に挑んできた奄美市や喜界町の生産農家の取組から、3つの効果的な対策について紹介します。



生育不良樹に見られる各症状

### <ポイントⅠ>

奄美大島や喜界島の土壌の多くは粘土質が強く、排水性に難があるので、かん水が過剰になると土壌中の気相が減り、根が呼吸できる良好な環境が損なわれていきます。特に、マルチ被覆下においては、定植後の前半は地上部・地下部ともにパッションフルーツの成長が未熟なため蒸散量が少なく、過湿になりがちです。勤に頼るかん水ではなく、土壌水分計の表示を目安にして、乾燥状態（pF値：2.2以上）に達した段階でかん水を実施するなどの適正な土壌水分管理に努めましょう。



土壌水分計の設置状況



定植から収穫までの土壌水分管理の一例

### <ポイントⅡ>

特に、土壌の排水に問題がある園地については、ポリエチレンイミン（商品名：EB-aエコ〔液〕，らくらくEB-a〔粒〕）の施用によって土壌の団粒化を急速に高める方法もおすすめです。定植時の活着水に液タイプを溶かして、また株と株の間に粒タイプを散播して、土壌中の滞水を抑制しましょう。

また、軟らかい作土層を作り上げて、旺盛な発根を促すことも重要です。できるだけコストのかからない堆肥などの積極的な施用を心がけましょう。



バガス堆肥の積極的な投入園地

### <ポイントⅢ>

生育序盤で症状がみられる状態に陥った場合の緊急措置として、硝酸石灰（商品名：カルシニット〔粉〕，トロピコート〔粒〕）の施用が効果的です。1,000倍希釈液を樹体に直接葉面散布（1週間おきに3～4回）で補給することで、勢いのある成長を取り戻した上に、症状が治癒する事例もいくつかみられています。

毎年のように生育不良がみられる園地では、定植直後の苗に散布したり、基肥の一部を硝酸石灰で補ったりした工夫も有効だと思われます。



硝酸石灰処理後前後の改善のようす

## 新たに認定された農業士の紹介

令和5年度は、新たに女性農業経営士が2名、青年農業士が1名、認定されました。



◎金城よしのさん  
(奄美市 果樹)

経営主として、パッションフルーツとたんかんを基幹とする経営に取り組んでいます。また、奄美大島と喜界町の若手農業女性ネットワーク「komorebi」(こもれび)の会長など、リーダーとして多方面で活躍しています。様々な事に挑戦しながら「楽しめる農業ライフ」の確立を目指しています。



◎豊原周子さん  
(喜界町 畜産)

平成13年に喜界町へ移住し、肉用牛、ヤギ、エミュー飼育のほか、マンゴー栽培にも取り組んでいます。また、人工授精師の資格を取得し、地域の畜産振興にも大きく寄与しています。経営する(株)豊原畜産の労務環境の改善を図り、「明るく楽しい会社」にすることで、雇用創出に繋げることを目標にしています。



◎岩下雅大さん  
(喜界町 さとうきび)

さとうきび大規模農家の後継者として、消防士、格闘家等を経た後、平成30年に就農しました。現在、さとうきびの規模拡大に加え、黒糖加工など経営の多角化を目指しており、各種研修会・イベントにも積極的に参加する等、経営改善や技術向上のための情報収集に意欲的に取り組んでいます。

地域農業をリードし、引っ張っていく3名のご活躍に期待しております！

## 令和6年度の普及職員紹介



農政普及課職員一同

農政普及課長	中	技術補佐	桃坂	
経営普及係	花立 (経営)	上之園 (経営)	豊永 (作物)	
技術普及係	松尾 (果樹)	南 (花き)	野島 (野菜)	生田 (畜産)
瀬戸内町駐在	天野 (果樹)	内村 (畜産)		
喜界町駐在	森 (野菜・作物)	郡山 (花き・果樹)		

以上13名で1年間活動してまいります。よろしくお願いいたします！